

## 人工知能（AI）技術活用における信頼性の向上に向けて

2023年11月27日

一般社団法人カメラ映像機器工業会

最近の AI 技術の進展にはめざましいものがあり、特に高度な生成 AI 技術の急速な進歩は、社会のあり方に大きな変革をもたらす可能性を秘めている。一方、このような急激な変革期には、変化による良い面と悪い面の両方の影響が現れることがよくあり、AI 技術の利用においても大きな期待と同時にリスクが存在する。

我々カメラ映像機器工業会（CIPA）に参加する企業が製造するデジタルカメラにおいても、既に被写体認識や撮影シーン解析など様々の場面で AI 技術が実際に利用されているものもあり、最終的な撮影画像（写真）の生成に貢献している。また、最近の生成 AI 技術は、既存の画像を大量に学習・分析することにより、実際には存在し得ないような新たな画像を本物の写真のような精細さで生成することもできるようになってきており、社会における画像活用の可能性をさらに拡大していくことが期待される。

一方、このような画像処理における AI 技術の利用は、撮影画像が実際に存在していた状況をそのまま撮ったものか、何らかの AI 処理が加わって生成されたものが撮影者の認識の範囲外で行われる可能性がある。また、既にフェイク画像や動画の問題が社会的課題となっているが、生成 AI 技術の進展により意図的に改竄された画像や動画を容易に生成でき、かつ実際に撮影された画像や動画との区別が一層困難となる事態を引き起こし、撮影画像に対する信頼性確保に関する要求が高まっている。

AI 技術の活用が、撮影画像を直接生成する機器であるデジタルカメラの可能性を今後更に広げていくことは明らかである。このため、AI 技術の可能性を最大限に活用する一方、それが内包する潜在的なリスクに対応する観点から、CIPA としては、デジタルカメラが生み出すコンテンツの信頼性を向上させるために責任ある行動を取ることが必要であると認識している。

このため、CIPA としては、世界の大半のデジタルカメラを製造する企業が参加する団体の責任として、カメラにおける AI 技術活用の透明性確保やカメラ撮影画像の真正性を保証する技術的／制度的仕組みに関する検討等を積極的に進めていくこととする。

以上

本件お問い合わせ先

一般社団法人カメラ映像機器工業会 事務局

e-mail: ai\_info@cipa.jp